



GIA®

2019 年度教育カタログ

Tokyo School



有効期間：2019年2月1日～2019年12月31日 発行日：2019年12月17日 Vol. 1.1

GIA Tokyo 合同会社 〒110-0016 東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7、7階 電話 03-5812-0316 FAX 03-3837-7786 GIA.edu

目次

GIAについて	03
教育認定と認証	04
コースの説明	05
入学	06
学生サービスと学生生活	08
教育方針と手続き	11
キャンセル、退学、返金ポリシー	17
授業料と教材費	18
2019年度GIA Tokyo Schoolクラス予定表	19
ガバナンスおよび経営管理	20
教育運営	21
GIA顧問委員会	22

このカタログに掲載されている内容や方針に関してご質問がある場合は、電話番号03-5812-0316
または giaeducationjapan@gia.edu までご連絡ください。

GIAについて

使命

GIAの使命は、教育、研究、ラボサービス、機器開発を通じ、最高水準の誠実さ、学術性、自然科学および専門性を守り、宝石とジュエリーに対する社会的信頼を守ることにあります。

歴史

1931年2月15日、元小売宝石商のロバート M. シプリーとその妻ベアトリスは、私財を投じて長年の夢だった Gemological Institute of America (GIA) を設立しました。

当時は、自分たちが取引する宝石についてよく知らないジュエラーがほとんどだったため、シプリーは、教育や研究、そして宝石学的な器具の使用法を通して、宝飾業界にプロフェッショナルを育てたいと願ったのです。

当初はシプリーの自宅を拠点とし、ガリ版印刷の教材を用いた通信教育コースを提供したり、借りてきた顕微鏡や器具を用いて宝石検査サービスを行っていました。GIAはこのような控えめなスタートから、今日では6カ国で7つのスクールを展開し、13万人以上の卒業生を擁する機関へ発展しました。また、世界で最も重要とされるダイヤモンドの鑑定を手がける権威あるラボと、最先端の宝石学研究センターを備えています。GIAが開発した4Cやインターナショナル ダイヤモンド グレーディング システム™は現在、ダイヤモンドの品質評価における世界標準として用いられています。

教育方針

GIAの教育は、世界最高品質の宝石学・宝飾教育を提供することにより、社会的信頼を守ります。GIAの教育における主要方針は以下の通りです。

研究

GIAでは、最新の研究と最先端技術に基づいてその教育プログラムを設計しています。

関連性

GIAでは、理論的知識と実践的スキルの適切なバランスを身につけることを教えています。

リーダーシップ

GIAは、卒業生が世界的な宝石・ジュエリー業界のニーズを満たす、倫理性と誠実性を兼ね備えた業界リーダーとなるよう支援しています。

アクセシビリティ

GIAのカリキュラムは、品質に妥協することなく、あらゆる学習方法のプログラムやコースを提供することで、全ての受講生の様々なニーズに対応しています。

サステナビリティ

継続的なサポートを通じて、GIAの卒業生が常に成長を続け、自信とスキルを備えた専門家として成功できるよう支援しています。卒業生は、宝石や宝飾品に対する社会的信頼を守るという使命を共有するGIAのパートナーです。

GIAの詳しい歴史については、[GIA.edu](https://www.gia.edu) を参照してください。

教育認定と認証

GIAは、宝石学の教育と研究、ジュエリー製造技術、および関連する内容についての普及を目的として設立された、民間の非営利教育機関です。

日本の法律により、学校教育法により認定されていない日本国内の学校において、日本国内の学生にサービスを提供することが許可されています。

英語で提供されるGIAのeラーニングコースは、Distance Education Accrediting Commission (DEAC) により認定されています。GIAのラボクラスは、DEACによる認定の範囲には含まれません。



DEAC
1101 17th Street NW, Ste. 808
Washington, DC 20036 USA
+1 202 234 5100

deac.org

コースの説明

GEM 130A ダイヤモンド エッセンシャル – 集中コース

このコースでは、ダイヤモンド ジュエリーの効果的かつ倫理的な販売方法の正しい基礎知識を学習します。プログラムの主要テーマには国際的に認められたGIAクラリティ グレーディング システムをはじめ、ダイヤモンドのカラーがどのようにグレード（等級付け）され、いかにダイヤモンドの価値に影響するかが含まれます。このプログラムでは、現代テクノロジーによるダイヤモンド カット技術の変遷、サイズと重量の関係、小売店の運営方法なども含まれます。最終試験はテキスト持ち込み可。このコースでは、ダイヤモンドエッセンシャル テキストが配布されます。

クラス日数: 2日

取得資格: Diamond Essentials Certificate

GEM 230L ダイヤモンド グレーディング ラボクラス

ダイヤモンド グレーディング ラボクラスでは、実践的なトレーニングと個人指導、マルチメディアを用いたGIA独自のプログラムにより、最新の宝石顕微鏡およびジュエラールーペを用いて、正確かつ一貫したダイヤモンド グレーディングの手法を学習します。GIAのインターナショナル ダイヤモンド グレーディング システム™を学び、多様なグレーディングを効率的に決定する方法や、GIAダイヤモンド グレーディング レポートを読み解く方法をマスターします。グレーディング技術の習得には、GIAによって厳選、グレーディングされたダイヤモンドを使用して、16時間以上を費やします。授業を通して、ダイヤモンドの最も一般的な特徴を判断する方法を学習します。このクラスを修了するには、2石実技試験に合格する必要があります。本コース修了後は、ラボ マニュアル、ポインタープローブ、ジェムクロス、プロット用ペンセット、テーブルゲージ、クラウン角度の照合カード、カラーグレーディング カードをお持ち帰りいただけます。

クラス日数: 5日、または夜間コースの場合は10日（35受講時間）

取得資格: Letter of Completion

入学

入学要件

GIAのコースおよびプログラムへの入学には、18歳以上で、高等学校卒業資格、もしくは同等の資格が求められます。

アプリケーションフォームの記入と受講料の支払いに加え、公的機関発行の写真付き身分証明書（運転免許証、パスポートなど）の写しを提出することが必要です。

氏名が変更された場合、結婚証明書等、有効期限内の公的機関発行書類も併せて提出してください。

20歳未満の申請者は、アプリケーションフォーム（登録申請書）およびエンrollmentフォーム（入学同意書）の両方に保護者による署名が必要です。

留学生ビザ

GIA Tokyo Schoolに入学する留学生は、自国の日本大使館または総領事館に問い合わせ、ビザ要件を確認してください。

出願方法と締切

出願するには、GIA.edu/gem-education/off-campus-tokyo から出願書類をダウンロードしてください。登録申請書、受講料、必要書類をGIA Tokyo（〒110-0016 東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7、7階）宛てに送付するか、メールで giaeducationjapan@gia.edu まで提出してください。

GIAがすべての必要書類と支払いを受領し、GIAより確認の連絡が届くまでは、入学の確定にはなりません。GIAより、入学の可否を通知します。

GIA Tokyo School以外のスクールへ入学を希望する場合は、該当のスクールに直接お問い合わせください。また、入学条件や出願手続きに関する詳しい情報は、GIA.edu のスクールのセクションを参照してください。

ラボクラスとダイヤモンドエッセンシャル集中コース

GIAは、1年を通してクラスを開講しています。出願の締め切りはありません。お申し込み順に入学となります。クラスには定員があります。早めの出願をお勧めします。遅くとも開始日の2〜3ヶ月前に申し込むことを推奨します。

クラスが定員に達している場合は、待機リストに記載されます。空席が発生したら連絡します。

出願者の審査

すべての入学希望者は、グローバルウォッチリストに照会審査されます。GIAは米国を拠点とした法人であるため、GIAの教育機関はすべて米国外国資産管理局（OFAC）の規則およびその他の適用法規を遵守する必要があります。詳細はお問い合わせください。

身元確認

GIAでは、コースやプログラムに登録した学生が、実際にそのコースやプログラムに出席して単位を取得する学生と同一人物であることを確認します。GIAは、全ての通学コースと通信教育のコースまたはプログラムで、クラスやコースに参加する学生の身分を、以下のオプションの少なくともいずれかひとつを利用して確認します。

- 公的機関発行の写真付き身分証明書の写し
- オンライン コースやMy GIAスチューデント センターにアクセスするための安全なユーザー名とパスワード
- 試験監督付きの試験では、GIAが承認する試験監督者による、受験する学生の身分証明の確認
- インストラクターが記録、監督するクラスの出席簿

特別対応について

GIAは、特別な条件やニーズを持つ出願者一人ひとりに対し、適切で合理的な配慮および対応を行うよう努めます。GIAの提供する手段、制限、経験について、特別に対応すべき要請があった時点で、個人に合わせてそれぞれの状況が考慮されます。各コースで受講生には、特定の身体的および認知的能力を必要とする作業が求められます。受講生からの要請があれば、GIAでは受講の可能性、出願適性等について相談の場を設けています。特別な対応を依頼する受講生は、GIAに入学後その旨を書面にして、特別な対応を必要とする30日以上前までにGIAに提出してください。提出する関係書類は、障害の検査や診断について専門家が記載したものでなければなりません。開講前に、キャンパス マネージャーと特別対応について話し合うための面談を予約してください。

非差別ポリシー

GIAは、人種、肌の色、国籍、民族、宗教、性別、年齢、障害、持病、信条、妊娠、子供の有無、婚姻、性的嗜好、退役軍人、性同一性、カースト、労働組合所属、政治的関与、身体的特徴、HIV、または該当する地方、州または連邦法によって保護されているその他の分類について、GIA受講生または入学希望者に対して差別行為やハラスメントを行わないことを方針として定めています。すべての受講生は、学校で通常提供されるプログラムや活動に参加する権利および特権を有しています。

報復行為

ハラスメントや差別を提訴した受講生や従業員、またはその申し立てを支援した者に対し、脅しや脅迫行為、報復を行うことは禁止されています。報復は、それ自体がGIAの方針と適用法に違反し、重大な犯罪です。報復行為は、退学や解雇までを含む処罰の対象となることがあります。

入学

GIAで取得した単位や資格の振替に関する 注意事項

取得した単位を移動させることができるかどうかは、受講生が希望する移転先の機関の裁量によります。教育プログラムで取得した資格が受け入れられるかどうかについても、受講生が入学を希望する他の機関の裁量によります。GIAで取得した資格が移転を希望する他の機関に受け入れられない場合、その教育機関でコースの一部あるいは全部を再受講する必要があるかもしれません。このため、GIAでの受講が自らの学業目的に合致するかどうか、まず見極めるようにしてください。これには、GIAで受講した後で移転を希望する機関に連絡をし、資格が振替できるかどうかを確認することも含まれます。

民間の認可職業学校では、履修単位ではなく受講時間数を基準としてカリキュラムを提供しています。スクール ディプロマなどの修了証書（サティフィケート）は、受講時間数を満たした学生に付与されます。民間の認可職業学校のプログラムへの参加および修了により取得したカレッジの単位が認められるかどうかは、受講生が次に入学を希望する機関の裁量によります。

単位振替方針

GIAは、他機関からの単位振替は行っておりません。現在、他の機関と単位振替の協定や調整は行っておりません。またGIAは教室外の職業経験や同等の学習、資格取得の為に試験や学力試験について単位振替を受け入れておりません。

各eラーニング コース（通信教育）またはラボクラスで取得した単位は、フルタイムのオンキャンパス プログラムに振り替えることはできません。ただし、通信教育で取得したグラジュエイトダイヤモンド（GD）またはグラジュエイト カラーストーン（GCS）のプログラムを修了し取得した単位は、グラジュエイト ジェモロジスト（GG）のオンキャンパス プログラムの一部として振替が可能な場合があります。例えば、通信教育でグラジュエイトダイヤモンド（GD）を、オンキャンパスでグラジュエイト カラーストーン（GCS）を取得した生徒はグラジュエイト ジェモロジスト（GG）を取得できます。

GIAラボクラスを無事修了し取得した単位は、受講した場所に関わらず、GIA通信教育プログラムの適用する単位に振り替えることができます。オンキャンパス プログラムにて無事終了し取得した単位は、通信教育プログラムまたはラボクラスの適用する単位に振り替えることができます。詳細については、学部長オフィス(Office of the Dean)にお問合せください。

学生サービスと学生生活

施設および開校時間

GIA Tokyo Schoolは、教室、スチューデントワークルーム、受付、ラウンジ（カフェテリア）、オフィスを備えています。教室には、各コースの学習で定期的に使用される器具やツールが装備されています。

GIA Tokyo Schoolの開校時間は、月曜日から金曜日の午前9:00から午後5:30までです。

GIA Tokyo Schoolは、別途記載がない限り、週末と祝祭日は休校です。この時間帯には、夜間コースへ参加している生徒、あるいは特別な許可を得た受講生に限り、施設への出入りが許可されることがあります。開講期間中は毎日昼休みがあります。その他の休憩については、各インストラクターの判断に従うものとします。休憩時間中は、インストラクターから特別な指示がない限り、教室は施錠され、受講生は退出しなければなりません。学生は、授業外で毎日宿題や割り当てられたプロジェクトに数時間を費やすことになります。

GIA Tokyo Schoolは、設計時に施行されていた適用法令および規約に遵守して、設計および建設されました。

2019年度 休校日

日付	祝祭日
2019年1月1日（火曜日）	元日
2019年1月2日（水曜日）	年始休業
2019年1月3日（木曜日）	年始休業
2019年1月14日（月曜日）	成人の日
2019年2月11日（月曜日）	建国記念日
2019年3月21日（木曜日）	春分の日
2019年4月29日（月曜日）	昭和の日
2019年4月30日（火曜日）	国民の休日
2019年5月1日（水曜日）	新天皇即位
2019年5月2日（木曜日）	国民の休日
2019年5月3日（金曜日）	憲法記念日
2019年5月6日（月曜日）	こどもの日振替休日
2019年7月15日（月曜日）	海の日
2019年8月12日（月曜日）	山の日振替休日
2019年9月16日（月曜日）	敬老の日
2019年9月23日（月曜日）	秋分の日
2019年10月14日（月曜日）	体育の日
2019年10月22日（火曜日）	即位礼正殿の儀
2019年11月4日（月曜日）	文化の日振替休日
2019年12月30日（月曜日）	年末休業
2019年12月31日（火曜日）	年末休業

教室の設備

ダイヤモンド グレーディング ラボクラス

教室には、GIA DiamondDock™、紫外線ランプ、観察用キャビネットが備えられています。各受講生の作業台には、オーバーヘッドライト付き双眼顕微鏡、ルーペ、ツイザー、LEDライト、計算機、ダイヤモンドグレーディングトレイが置かれています。受講生は、ラボマニュアル、ポインタープローブ、ジェムクロス、プロット用ペンセット、テーブルゲージ、クラウン角度の照合カード、そしてカラーグレーディングカードを各自保管し、受講後はお持ち帰りいただけます。

スチューデント ワークルーム

スチューデントワークルームには、比重計、卓上分光器、カラーフィルター、光ファイバー照明、紫外線ランプを備えた観察用キャビネット、ユーティリティライト、ルーペがあります。各受講生の作業台には、オーバーヘッドライト付き双眼顕微鏡、携帯型回折格子分光器、二色鏡、偏光フィルターと取り外し可能な拡大用アイピースが付属した屈折計、屈折液（RI液）、拡散プレート、収斂レンズ、偏光器、白熱光スポットライト、ツイザーが備えられています。

住居

GIAには寮はありませんが、GIA Tokyo Schoolの近くには様々な広さ、設備、家賃の住居があります。

東京に到着する45日ほど前から、住居探しを始めることを推奨しています。住居を決める前に、様々な宿泊施設をよく調べるようにしてください。

飲食物

軽食や昼食はスクール近くで購入することができます。スチューデントラウンジ（カフェテリア）には、テーブルと椅子が置かれており、自由に食事をすることができます。

GIAの教室内での食事は禁止されています。しかし、蓋付きの容器に入った飲み物は許可されています。GIAの公式催事等で用意された場合以外は、GIAへのアルコール飲料の持ち込みは禁じられています。未成年者に対して、アルコールを提供することは禁じられています。

コンピューターとインターネット アクセス

無線インターネットが無料で提供されています。

学生サービスと学生生活

学生行動規範と行動基準

GIAの学生行動規範および行動基準は、受講生および従業員の権利を保護し、すべての受講生にとって安全で実用的な学習環境を確保します。GIAの受講生は、常にプロフェッショナルな行動をとり、他者に対して尊厳と敬意ある態度で接することが求められます。受講生は、学生に関するGIAのすべての方針を読み、理解する責任を負うものとします。受講生は、インストラクターやその他のGIA関係者すべての指示に従うことが求められています。

禁止されている行動には、次のものが含まれますが、これらに限定されません：

- ・ 性的嫌がらせや不正行為を含む脅迫行為または嫌がらせ行為
- ・ 他の学生またはGIAスタッフに対する報復行為
- ・ 暴力的な行為や脅迫
- ・ キャンパス内での銃器やその他の武器の所持
- ・ 違法薬物、規制物質またはアルコールの使用、販売、購入、仲介、製造、流通、または所有
- ・ 偽造、詐欺または不正行為
- ・ 破壊的、反抗的または非合法的な行動
- ・ 学業上の不正
- ・ 物的損害または盗難
- ・ その他GIAの方針に違反する行為

違反

受講生または従業員は、危険行為、不適切な行動、または非合法的な行為を発見したら、直ちにGIAスタッフに報告する必要があります。指定の学校関係者が、学生の行動規範違反の申し立てについて調査を開始します。学生は発言の機会を有します。GIAが調査を行う間、受講生はGIAの担当者に情報を提供し、調査に協力する必要があります。GIAは、調査中に収集されたすべての情報を意思決定プロセスで考慮します。

処罰

調査の結果、十分な証拠があれば、GIAは独自の裁量で、違反の性質や重大性を要因に応じて、1つあるいは複数の処罰を科す可能性があります。それらには、口頭による警告、書面による警告または観察期間、または退学が含まれます。犯罪行為を伴う場合はGIAの裁量により、適切な法執行機関またはその他の当局に通知するかどうかを決定します。GIAは、調査の安全性と完全性を維持するため、調査中の学生に停学を命じる権利を有します。

あらゆる状況をカバーするすべてのルールをリストアップすることは困難であるため、GIAはすべての受講生、職員、スタッフ、そして管理部門の間で相互信頼と尊敬の基本原則に基づいて行動するよう努力するものとします。

薬物乱用

アルコール類を含む違法薬物や規制薬物を、スクール内において使用、販売、購入、譲渡、配布、所有することは禁じられています。この方針に違反した場合、受講生は退学までを含む処分の対象となります。GIAが課す処分に加え、起訴される場合もあります。

受講生は、GIAの敷地内で上記のものやその使用を発見したら、直ちにGIAのスタッフに報告する必要があります。「違法薬物」と「規制薬物」には、全ての化学物質や薬物が含まれます。医師がその個人に対して適切に処方した以外の処方薬は、違反の対象となります。

喫煙

GIAの施設内で喫煙（電子タバコを含む）およびその他の形でタバコを使用することは、固く禁じられています。また、GIAの建物の前で喫煙することも遠慮ください。

武器

いかなる状況においても、受講生や訪問者がスクールに銃やその他の武器を持ち込むことはできません。武器を所持したり隠し持っていた場合、受講生は退学までを含む処分の対象となり、法執行機関に通報されることになります。催涙スプレーなどの自己防衛品を所持している受講生は、GIAに報告するとともに、スクールでは見えない所に保管しておかなければなりません。

調査と差押さえ

GIAは、受講生および雇用者の健康と安全を確保するために、受講生の机、ロッカー、コンピューターファイルおよびソフトウェア、またはその他の備品の内容を判断し、必要と判断した際はそれを開いて検査することができます。GIA、独立機関のセキュリティサービス、また法執行機関は、対象の受講生がその場にいるか否かを問わず、通知なしにいつでも調査もしくは捜索を行うことがあります。この観点から、受講生はプライバシーに関わる書類、資料、その他の物品をGIAの施設内に持ち込んだり保管すべきではありません。必要と判断された場合は、リュック、ハンドバッグ、手提げ鞆などの個人所有物が調査されることがあります。調査に非協力的な受講生は、退学までを含む処分の対象となることがあります。

服装規定

GIAでは、受講生が安全性と品位を考慮した快適な服装で過ごすことを奨励しています。靴と適切な肌着の着用は必須とされます。肌が露出していたり、体の線にぴったりした衣服（首元が広く開いたタンクトップ、ホルタートップ、短すぎる丈のショートパンツやスカート、チューブトップ、過度に下げた腰パンなど）、また、みだらな印象のTシャツなどは好ましくありません。特別な催しの際は、男性はスーツとネクタイ、女性はスーツといったビジネスにふさわしい服を着用してください。

学生サービスと学生生活

スクールへの来訪

GIA Tokyo Schoolへ来訪する際には、事前に連絡して手配や予約をすることを勧めます。来訪者は、入館時に氏名を申し出てください。受講生は許可なく来訪者を館内に入れてはいけません。受付で事前の手配や予約が必要となります。

映像と音声による監視

GIAは事業の性質上、施設および手続きにおける完全性と安全性を保証しなければなりません。その対象として、カスタマーサービスおよびクライアントの貴重な資産が含まれますが、これらに限定されません。そのため、GIAは施設内で電子機器を用いて映像と音声による監視を行っています。監視される内容には、受講生の個人データである映像記録、音声記録、受講生の映像や写真、施設付近での日常的な会話、映像と音声記録に残された個人の名前やデータなどが含まれますが、これらに限定されません。GIAは法的義務を遵守し、業務、施設、従業員、その他関係者を保護するという正当な利益のために、これを行行使するものとします。受講生は、公共の場または作業場所においてプライバシーを期待してはいけません。（GIAではトイレや着替えをする場所については監視をしません）各施設において映像と音声による監視が行われている場所では、その旨を記した貼り紙があります。[GIA.edu/privacy-notice](https://gia.edu/privacy-notice)の「受講生のプライバシーに関する通知」にて完全に開示されている情報を参照してください。

商業活動

受講生は、GIAの施設内で商業活動を行うことはできません。商品を提示したり販売することは禁じられています。

贈答品

GIAの行動規範は、GIAの全従業員が遵守するものであり、すべての業者、クライアント、受講生、そしてGIAの社会的貢献に対する一連のガイドラインです。このガイドラインには、GIA従業員が贈答品や謝礼を受け取ることを禁じる規定が含まれています。GIAの行動規範のPDFファイルは、[GIA.edu/ethics-compliance](https://gia.edu/ethics-compliance) からダウンロードできます。

ソーシャル ネットワーキング

GIAは、ソーシャル ネットワークの役割と価値を理解しています。しかし、ネットワーク上で在籍中の受講生とGIA従業員がコミュニケーションをとることにより、臆慮をされていると見られたり、利害関係が生じる可能性があります。したがって、現在受講中の学生とGIA従業員が、ソーシャル ネットワーク上でコミュニケーションをとることは禁じられています。GIA同窓生とGIA従業員がソーシャル ネットワークでコミュニケーションをとることは、当該同窓生が現在GIAに在籍していないこと、実際の利害関係やその恐れがないことを前提として、許可されています。

教室内での安全性

GIAは、安全で健康的なスクールの維持に力を入れています。受講生はラボでの実践課題に多くの時間を費やします。これらのセッションでは、誤った使い方をしたり、適切な注意を怠った場合に危険性をはらむ化学薬品、装置、用具を扱うことがあります。危険な用具や物質を扱う場合にはインストラクターの指示に必ず従い、化学薬品を扱った後は入念に手を洗うようにしてください。

教室での化学薬品使用についての通知

GIAは、ヨウ化メチレンを含有する屈折液（RI液）を使用するラボでは、適正な取り扱いを徹底することを勧奨しています。各種コース、ラボクラス、GIAワークルームでは、屈折液が屈折計と共に使用され、直接的または間接的に体に接触することがあります。妊娠中、特定の病気にかかっている場合、またはこの化学薬品に敏感であったりアレルギーがある場合は特に注意が必要です。不明な点があれば、医師に相談してください。

GIAの教室では、保護手袋や適正な廃棄用コンテナを用意しています。各教室にはセーフティ データ シート（SDS）を掲示し、希望があればその写しをお渡しします。

GIA 同窓会

受講生はGIAのコースやプログラムを無事修了すると同時に、GIA同窓生となる資格を得ます。GIAは修了生を自動的に同窓生として認識します。また、同窓生としての会費はかかりません。ただし、同窓生に提供されるすべての特典を受け取るには、GIA同窓会メンバーシップに登録する必要があります。

現在の同窓生特典には、GIAの同窓生であることをクライアントや同僚に伝える様々なツール、同窓生を対象にした刊行物、そして国際的なイベントなどがあります。GIA同窓生オンラインディレクトリーへの登録を要求することも可能です。これは、[GIA.edu](https://gia.edu)で一般公開されている公共の検索ツールで、GIAディプロマ取得者であることがすぐに確認できるため、潜在的なビジネスを獲得する手段となります。13万人以上の同窓生が登録し、世界に70以上の支部を展開しているGIA同窓会に繋がることで、拡大を続けるGIA卒業生コミュニティの一員となり、教育、ネットワーキング、指導を受ける機会を得て、キャリアを通じたサポートが受けられます。

詳細については、電子メールalumni@gia.edu、または月曜日から金曜日の午前8:00から午後5:00（太平洋標準時）の間に、電話 +1 800 421 7250 内線 4145 までご連絡ください。また、GIAウェブサイトの同窓生セクション（[GIA.edu/gia-alumni](https://gia.edu/gia-alumni)）から、メンバーシップの管理や同窓生間の交流ツールへの登録ができるほか、GIA同窓生を見つけたり、同窓生の最新情報、イベント、世界中のGIA同窓会支部の一覧を閲覧することができます。

日本には8つの同窓会支部があります。日本の同窓会支部についての詳細は、office@giaaaj.jpまでお問い合わせください。

教育方針と手続き

以下の方針および条件は、全ての受講生に質の高い受講経験を保証するために定められています。これらは、卒業生の教育投資を支援し、GIAのサティフィケートやディプロマの価値と信頼性を維持するために役立ちます。これらの方針および条件は、別途記載がない限り、すべてのコースとプログラムに適用されます。方針は変更される場合があります。

採点方式

採点方式	最終成績
75%以上、かつ卒業条件を満たしている場合。	P (Pass) - 合格
74%以下、あるいは卒業条件を満たしていない場合。	NP (No Pass) - 不合格
INC (Incomplete) - 保留は仮の成績で、以下の基準に基づいて変更されます。受講生は、本人とGIAとの書面同意に基づき取り決められた残りのコース要件を完了させる必要があります。同意内容に従ってコースを完了できなかった場合は、INC (Incomplete) - 保留に代わりNP (No Pass) - 不合格の成績になります。	INC (Incomplete) - 保留
プログラムやコース、またはクラスに登録した受講生が、授業開始日以降に受講を取りやめた場合、成績表にはSWD (Student Withdrawal) - 学生による受講取消と記載されます。SWDのグレードは、永久に成績記録に残ります。	SWD (Student Withdrawal) - 学生による受講取消

採点に関する方針

受講生は、インストラクターに成績を請求することができます。成績と履修記録は無期限に管理され、アクセス可能です。

宿題、小テスト、試験は、GIAの受理後通常48時間以内に採点されます。(祝祭日、週末は除く)

出欠に関する方針

出席と時間厳守はGIAでの成功の鍵となります。集中的なカリキュラムになっているため、授業やラボは欠席しないことを強く推奨します。授業は時刻厳守で開始されます。定められた休憩時間外に、インストラクターの許可なく教室を退室することはできません。朝と各休憩後、出欠を取ります。その時点で教室にいない場合は、遅刻または欠席扱いになります。

- 欠席とは、一日の授業時間のうち、インストラクターの許可なく計1時間以上（指定の休憩時間を除く）教室を退室している状態の事を指します。
- 遅刻とは、一日の授業時間のうち、インストラクターの許可なく計1時間以内（指定の休憩時間を除く）教室を退室している状態の事を指します。

受講生は、各自で遅刻および欠席回数を把握しておく責任があります。受講生は、自身の出欠状況について、いつでもインストラクターに確認することができます。以下の最大遅刻時間と欠席日数表に示されるように、理由付きで許可される欠席や遅刻には制限があります。

ラボクラスの受講生で、初日に一部でも参加できない時間があつた場合、あるいは最大欠席日数を超える欠席があつた場合は退学となり、成績にはSWDと記載されます。受講料の払戻額は返金ポリシーに従って算出されます。

許可される最大遅刻時間と欠席日数

クラス	欠席
ラボクラス (1日7受講時間)	一部たりとも欠席は許可されません。 最大0受講時間。
ラボクラス (3〜6日または21受講時間)	初日は一部たりとも欠席は許可されません。 最大2受講時間
ラボクラス (5〜10日または35受講時間)	初日は一部たりとも欠席は許可されません。 最大3受講時間。

受講時間数

受講時間数とは、各コースやプログラムにおいて教室で授業を受ける時間数のことです。1受講時間には、60分の授業時間中に最低50分の指導時間が含まれているものとします。各プログラム、コース、クラスの受講時間数は、各クラスの説明に記載されています。

教育方針と手続き

学業上の不正

GIAは不正行為を非常に深刻な問題とみなしています。受講生は各個人で課題に取り組むことが求められており、右記試験方針に従わなければなりません。不正行為とは、クラスの要件を満たすために取るすべての無許可の支援行為を指します。これには、以下の項目が含まれますが、それに限るものではありません：

- 他の受講生の課題や宿題を写すこと
- キーカードを複製または複写すること
- 他者が行った課題を提出すること
- 小テスト、宿題、または試験で許可なく他の受講生を手助けする、または手助けを受けること
- 認定された監督者の監督なしに監督試験を受けること
- 無許可の電子機器を使うこと
- 与えられた課題で許可なく手助けを得ること
- 許可なく実技課題や課題を持ち帰ること
- カンニングや不正行為を知りながら、疑わしい行為を報告しないこと
- インストラクターの許可なしに、小テスト、試験、課題、キーカード、その他の学術的に機密扱いが求められる資料の撮影や複製を作成すること

教室に関する方針

GIAでは、学問的な一貫性の保持に努めています。そのため、受講生には以下を遵守することが求められます：

- インストラクターから特定の指示がない限り、受講生は各個人として学習に取り組むものとします。
- GIAが支給したものではない私的な器具の教室への持ち込みは許可されていません。インストラクターの許可があれば、安全性または人間工学的な理由で例外が認められる場合があります。教室で使用が許可された場合でも、GIAが支給したものではない個人の器具の紛失や損傷についてGIAは責任を負わないものとします。
- インストラクターの許可なく小テスト、試験、キーカード、ワークシートおよびその他の教材の撮影または複製は固く禁じられています。
- キーカードはGIAの所有物であり、教室外に持ち出すことは禁止されています。
- 受講生は、ワークシートの空白または記入済みに関わらず、教室外に持ち出してはいけません。
- 受講生は、インストラクターの許可なく課題や教材を教室外に持ち出してはいけません。
- 携帯電話やその他モバイル通信機器は、マナーモードに設定し、見えない所にしまっておきます。授業時間中にソーシャルメディア、インターネット、テキストメッセージ、通話を利用することはできません。インストラクターの許可なく教室でそれらの機器を使うことは固く禁じられています。

試験方針

小テストと試験は、各受講生のカリキュラムの理解度とスキルの習得度を把握するものです。また、学習へのモチベーションやコミットメントにも役立ちます。小テストおよび試験では、インストラクターまたは試験監督による別段の許可または指示がない限り、以下の条件が適用されます。

- 筆記、実技を問わず全ての小テストと試験はGIAの所有物であり、インストラクターまたはその他の認可された関係者以外が教室から持ち出すことがあってはなりません。
- 予定された日時以外に受けた練習問題、小テスト、試験は0点となります。GIAは受講生の考慮すべき状況に基づき決定した、未完了の練習問題、小テスト、試験の受け直しを承認することがあります。
- 試験中は、無許可の電子機器を使用することはできません。
- 全ての練習問題、小テスト、試験は合格時のものが最終となります。
- 小テストや試験の実施中に何らかの事情で避難が必要となった場合、実施中の小テストと試験は無効となる場合があります。無効とされた小テストや試験は、必要に応じて日時を再設定し、実施されます。
- 通信教育の受講生の場合、試験問題レビューは行われません。受講生の要望に応じて、担当インストラクターより一般的なレビューが提供されます。
- 小テストと試験問題を複製することや、他の受講生と共有することは、その情報源に関わらず一切禁止されています。
- カンニングや不正行為を意図的に報告しないことは、学業上の不正とみなされ、学生行動規範の違反とされます。
- 電子機器、デジタル機器、その他の物理的手段による小テストや試験問題、資料のコピー、ファックス、スキャン、撮影、録音は、いかなる場合でも禁止されています。
- すべての筆記小テスト、試験は、指定された時間内に完了させなければなりません。すべての筆記小テスト、試験は、試験監督者が必要でない試験でない限り、GIAスクール内、またはGIAが認定した試験監督者の下で受験する必要があります。
- 試験監督者に送付される試験は、常にその監督者によってのみ管理と保管がされるものとします。試験監督についての条件は、このセクションの試験監督付試験を参照するか、電話（03-5812-0316）、またはメール giaeducationjapan@gia.edu にてお問い合わせください。
- すべての小テストと試験では、インストラクターまたは試験監督者の指示がない限り、教材等の持ち込みはできません。
- 小テストと試験中の電子辞書の使用は認められていません。
- 標準的な電卓のみ、使用が許可されています。
- 試験中は、カメラやその他の映像・音声記録装置の持ち込みは禁止されています。
- 携帯電話やその他のモバイル通信機器は電源を切り、見えない所にしまうものとします。インストラクターの許可がない限り、教室内および試験中のモバイル通信機器の使用は固く禁じられています。
- クラスによっては、GIAが提供する端末を使用する場合があります。その場合はインストラクターの指示に従ってください。

教育方針と手続き

サティスファクトリー アカデミック プログレス (SAP) ポリシー

ラボクラスの受講生は、予定された受講時間に講義、ディスカッション、実習ラボセッションに参加し、適切にコースを進めていくことが求められます。出欠に関する方針で示されている最大欠席日数を超えた受講生は、退学処分となります。受講生は、クラスを修了するために、許可された受験回数内で最後のアサイメントに合格する必要があります。不合格となった受講生には、NP (No Pass) - 不合格のグレードが与えられます。

警告・仮及第 (Probation)

学業面、出欠、行動面での方針に違反した場合は、いつでも警告・仮及第の対象となります。警告・仮及第の目的は、学業成績が水準に達していないことを書面で伝えること、向上のための目標を定めること、そして受講生が学業成績を向上させ最低限の条件を満たすことができるように、妥当な猶予期間を与えることにあります。猶予期間に条件を満たさなかった受講生は退学となり、最終成績はSWD (Student Withdrawal) - 学生による受講取消になります。

退学に関する方針

GIAは、受講生を学業面、出欠、行動面の理由により、いつでも退学処分にすることができるものとします。退学処分の理由は以下を含みますが、これに限定されないものとします：

- 学生行動規範と行動基準に違反した場合
- 指示や方針に従わない場合
- 十分な学業的向上を維持できない場合
- カンニングやその他の不正行為があった場合
- 出欠方針に従わない場合
- 攻撃的、破壊的、脅迫行為、嫌がらせ、いじめまたは反抗的な行動をとった場合
- GIAまたは他者の所有物を盗んだ場合
- アルコールや、違法薬物、規制薬物を学校敷地内で使用、所有、販売した場合
- 学校敷地内で銃器やその他の武器を所持した場合
- GIAの書類や用紙に、虚偽の情報を提供、または故意に情報を省略した場合
- GIAの名称、評判、所有物を傷つけるような活動を取った場合

退学処分を受けた受講生には、SWD (Student Withdrawal) - 学生による受講取消の成績記録が永久的に残ります。受講料の払戻額は、その受講生の入学合意書とGIA返金ポリシーに従って算出されます。

退学処分後の再入学申請

退学となった受講生は、退学となった理由と再入学に関わる諸条件を記載した文書を受け取ります。受講生は、キャンパスマネージャーに書面による文書を提出し、退学の取り消しを要請することができます。文書には、GIAが要請の受領から10営業日以内に書面で返答を行うことを含める必要があります。要請を提出することで、再入学が保証されるわけではありません。再入学の可否はGIAの独自の裁量で決定され、受講コースの空き状況によります。再入学には現行の授業料および手数料が適用されます。

再入学に対する最初の要請が却下された場合、次に要請が検討されるのは2年後になります。

石の紛失に関する方針

受講生は、在籍中にGIAが貸与するすべての宝石、機器、器具に対して責任を負うものとします。受講生は紛失した石、機器や器具、または通常使用を超えての損傷破損に対する修理または補填費用の責任を負うものとします。

受講生には、紛失したすべてのジュエリー、ダイヤモンド、またはカラストーンの再調達費用が請求されます。もし後日、当該品が見つかった場合は、支払われた費用は受講生に返金されます。

受講生は、紛失や破損した石や機器について代用補填することはできず、GIAが指定する補填額を支払うものとします。

教育方針と手続き

卒業条件

卒業においてすべての受講生は、サティスファクトリー アカデミック プログレス (SAP) ポリシー、最低限の出席率と行動基準、以下の表に記載された指定の卒業条件を満たす必要があります。各プログラム、コース、ラボクラスを修了するには、最終成績で最低でもP (Pass) - 合格を得る必要があります。卒業前には、すべての授業料とその他の手数料を全額支払い、石、機材、書籍、資料を良好な状態で返却しなければなりません。すべての教育関連の支払いが完了するまで、サティフィケートとディプロマは授与されません。

卒業条件

プログラム	最低条件	プログラム中の最大試験回数
ダイヤモンド グレーディング ラボクラス		
ダイヤモンド グレーディング ラボクラス 2石実技試験	75%の得点	5*
ダイヤモンド エッセンシャル - 集中コース		
コース アサイメント	100%の提出	-
ダイヤモンド エッセンシャル筆記試験	75%の得点	3

*3度目の試験で合格に至らなかった受講生は、もう一度受験する前に追加の補講を受ける必要があります。補講を受けるためには、標準的なスチューデント ワークルーム使用料が適用されます。再試験に対する料金は発生しません。

受講生のプライバシーに関する通知

Gemological Institute of America, Inc. (「GIA」または「我々」) は、オンキャンパスおよび通信教育プログラムの申請者、受講生、同窓生 (「あなた」) のプライバシーを重視しています。この受講生のプライバシーに関する通知 (「本通知」) は、あなたの個人データの収集、使用、取り扱いに関するGIAのポリシーと慣行について説明し、あなたのプライバシーに関する権利を規定しています。個人データは、識別されたまたは識別可能な個人に関連する情報として定義されます。GIAはあなたのプライバシーを大切にすることを継続的な責任を有すると認識しており、GIAは新たなプライバシーポリシーの採用や新たな個人データ実務を行う際に、本通知を随時更新することがあります。

開示と更新の全容については、GIAのプライバシーに関する通知 ([GIA.edu/privacy-notice](https://gia.edu/privacy-notice)) および受講生のプライバシーに関する通知 ([GIA.edu/privacy-notice#student-privacy-notice](https://gia.edu/privacy-notice#student-privacy-notice)) を参照してください。

個人データの収集、使用および処理

GIAは適用されるデータ保護法に従い、合法的な目的であなたの個人データを収集、使用します。これは、法律が個人データの収集および使用の法的根拠を必要とする場合、GIAは合意、契約の履行、法的義務、重大な利益の保護、公益、GIAまたは第三者によって追求される正当な利益のいずれかの法的根拠のためにのみ、個人データを収集し使用することを意味します。ただし、正当な利益があなたの利益またはあなたの基本的権利と自由によって無効とされている場合を除きます。

GIAは、あなたのGIAでの経験を円滑にすると共に、教育コース、教育プログラムおよび関連サービスの提供といった、Student Privacy Notice ([GIA.edu/privacy-notice#studentprivacy-notice](https://gia.edu/privacy-notice#studentprivacy-notice)) で詳細が説明されている目的のために個人情報を使用します。GIAは、本通知に記載されている通り、あなたの個人データをGIA関連会社 ([GIA.edu/affiliated-entities](https://gia.edu/affiliated-entities)) 及び他者と共有することがあります。

個人データの提供は任意です。ただし、個人データの提供がない場合、希望する教育コース、教育プログラムおよび関連サービスを提供できない場合があります。

The U.S. Family Educational Rights and Privacy Act (「FERPA」、家庭教育の権利とプライバシーに関する法律)

The U.S. Family Educational Rights and Privacy Act (「FERPA」) は、教育記録に関する一定の権利を適格の学生 (「受講生」または「あなた」) に与えています。(FERPAの「適格の学生」とは、18歳以上の学生、または任意の年齢で大学などの中等後教育に在籍している生徒を意味します)。

受講生の権利には以下が含まれます。

- Gemological Institute of America, Inc. (「GIA」、または「Institute」) が要請を受領した日から45日以内に、あなたの教育記録を調査・検証する権利があります。
- 教育記録が不正確、誤解を招く、あるいはその他のFERPAに基づくプライバシー権を侵害するとあなたが考える場合、その訂正を求める権利があります。
- FERPAが同意なしでの開示を認める場合を除き、GIAがあなたの教育記録から個人識別情報 (「PII」) を開示する前に、書面により同意する権利があります。
- GIAがFERPAの要件の遵守を怠ったと考えられる場合、米国教育省に苦情を申し立てる権利があります。FERPAの管理オフィスの名称と所在地は次の通りです。

Family Policy Compliance Office
U.S. Department of Education
400 Maryland Avenue, SW
Washington, DC 20202

学生の同意なしにGIAが行うことができる開示：

FERPAは、開示がFERPA規則の99.31条にある特定の条件を満たす場合、あなたの同意なしに教育記録からPIIの開示を許可します。学校関係者への開示、一定の司法命令または適法に発行される召喚状に関連する開示、ディレクトリー情報の開示、およびあなたへの開示を除き、FERPA規則の99.32条は、GIAに開示を記録することを要求します。あなたは開示の記録を検査し、検証する権利があります。詳細については、Family Educational Rights and Privacy Act (FERPA) に基づく Notifications of Rights 「権利の通知」 ([GIA.edu/privacy-notice#ferpa-notice](https://gia.edu/privacy-notice#ferpa-notice)) を参照してください。

教育方針と手続き

学業成績

受講生の成績は、連邦、州、教育認定機関の条件に従って保管されます。受講生についての情報の管理と保護は最優先されます。GIAでは、包括的かつグローバル プライバシー ポリシーを採用しており、[GIA.edu/privacy-notice](https://www.gia.edu/privacy-notice)で確認することができます。

推薦状

GIAは推薦状を発行しません。

成績証明書

成績証明書は、一部10USDで発行します。詳細はカールズバッド キャンパスrecords@gia.eduにお問合せください。

ディプロマ/成績証明書の保留

学業的条件を満たし、授業料と諸経費の支払いがすべて完了している場合のみ、ディプロマは授与または郵送されるものとします。それらの条件が満たされるまで、ディプロマや成績証明書は発行されません。

ディプロマの再発行

ディプロマを紛失したり損傷してしまった場合、カールズバッド キャンパス records@gia.edu に再発行を申請することができます。再発行されるディプロマは、現行のディプロマの形式に従い、再発行日が記載されています。再発行されたすべてのディプロマには、GIAの現理事会議長、および社長兼最高経営責任者（CEO）の署名が記されます。

氏名の変更

GIAの受講生情報として登録した氏名の変更や訂正を要請する場合、公式の文書と書面での証明書を必要とします。GIAに現在登録されている氏名が記載された文書を一点、新しい氏名が記載された文書を一点、提出する必要があります。以下の文書が証明書として受付可能です。

- 有効な公的機関発行の写真付き ID
- 結婚証明書
- 離婚を証明する文書
- 帰化を証明する文書

資格情報の使用方針

適用方針

使用方針は、GIAおよび関連事業体（総じて「GIA」とします）の、現在および過去の受講生全員に適用されるものとします。

資格証明書の使用ガイドライン

GIAで取得した資格証明書は、世界中の宝石とジュエリーの専門家から評価されています。宝石学、ジュエリー製造技術、ジュエリービジネスの分野における最高峰の教育を受けた証として、国際的に認知されています。

GIAディプロマを取得した受講生が、自分の名前の後ろに取得した称号を付けて示すことは、適切な慣例的行為とされています。しかし、GIA卒業生は特定の使用基準を遵守する必要があります。

以下の例は、GIAが提供する全てのディプロマに当てはまるものではありませんが、GIAの資格証明書の使用ガイドラインがご自分にどのように適用するかを判断するのに役立ちます。

一般的な使用

GIAのディプロマ、サティフィケート、レターオブコンプリーションは、そのまま複製し掲示することが許可されています。ただし、GIAで取得した資格を提示する場合には、取得した当人の名前に関連させる必要があり、いかなる形でもGIAによる提携または宣伝を示したり示唆するものであってはなりません。

名刺には、GIAで取得したディプロマまたは学位のみ記載することができます。ディプロマ取得に至らない個々のコースワークについては、レジюмеと履歴書に記載するようにしてください。

ディプロマ

以下の例は、Graduate Gemologist（GG）、Accredited Jewelry ProfessionalもしくはApplied Jewelry Professional™（AJP®）、Jewelry Design & Technology（JDT）、Graduate Jeweler（GJ）のディプロマを取得済みであることを意味しています。

- John Doe, GIA Graduate Gemologist、または John Doe, GIA GG
- Jane Doe, GIA Applied Jewelry Professional、または Jane Doe, GIA AJP
- Jane Doe, GIA Jewelry Design & Technology、または Jane Doe, GIA JDT
- John Doe, GIA Graduate Jeweler、または John Doe, GIA GJ
- Jane Doe, GIA GG, GJ

以下の例は、Graduate Diamonds、Graduate Colored Stones、Graduate Pearlsのディプロマを取得済みであることを意味しています。

- Jane Doe, GIA Diamonds Graduate
- John Doe, GIA Colored Stones Graduate
- Jane Doe, GIA Pearls Graduate

教育方針と手続き

名称、商標、著作権

多くの企業と同様に、GIAの名称とロゴは正式に商標登録されているため、本文に記載された場合を除き、自身の宣伝のために用いることは許可されません。また、GIAが著作権を有する資料（GIAの刊行物、コース教材、GIAで使用している特定の印刷物を含む）についても同様の規定が当てはまり、事前に書面によるGIAの承諾を得ずに使用することは禁じられています。以下は、事前の承諾なしに宣伝に使用することが禁じられているGIAの商標と著作権付き資料の一例です。

- GIA (Gemological Institute of America) とそのロゴ
- GIA グレーディング及び鑑別レポート (GIA ダイヤモンド グレーディング レポート、GIA ダイヤモンド シエ®、GIA ダイヤモンド フォーカス™ レポート、GIA 鑑別レポート、GIA カラーダイヤモンド 鑑別及び色の起源レポートなど) クライアントや販売者が所有する商品についてのレポートは、使用が許可されています。
- GIA Facetware™ (ファセットウェア) のロゴ
- GIAの教材と刊行物 (印刷物、ウェブサイト、映像、音声を含みますが、これに限定されない媒体の資料)
- *Gems & Gemology* (季刊誌) とそのロゴ

無許可の使用

GIAやその子会社が直接的または間接的に、個人もしくは民間の企業（従業員、商品、サービス、料金設定を含む）を認証、出資、あるいは認可していると示唆した場合、GIAの名を無許可で使用したことになります。受講生、卒業生、企業、または特定の宝石類がGIAによって「認定」されているとするのは不適切な行為です。GIAはいかなる認定も行っていない。GIAのサティフィケートまたはディプロマを取得した受講生について、またGIAが鑑定・鑑別を行ったいかなる宝石についても、GIAの「認定」を意味するものではありません。

次に示されているのは、使用が禁じられている例です。GIA認定、GIA認定ダイヤモンド アプレンティス、GIA認定ダイヤモンド、GIAダイヤモンド、GIA認定アプレンティス、認定グラジュエイト ジェモロジスト、GIA会員、GIAラボラトリー会員。

GIAは教育研究機関であるため、私的事業に参加したり、推奨することは許可されていません。GIAは然るべき規制および認定機関より承認を受けており、そのような行いを示唆する行為自体を避けなければなりません。

GIAは、第三者のドメイン名にGIAの商標を使用することを禁じています。ダイヤモンド、ジュエリー、教育および関連分野のウェブサイトドメイン名にGIAを使用すると、GIAマークの侵害となります。

Facetware™ (ファセットウェア) のロゴを使用することは禁じられています。カットのグレーディングにGIA Facetware™ (ファセットウェア) を使用していることに言及する場合は、「カット グレードの見積もりには、GIA Facetware™ Cut Estimator (ファセットウェア カット エスティメーター) を使用しています」と示すものとします。

本文に記載されていない知的財産の使用要請は、guidelines@gia.edu までメールでお問い合わせください。

著作権侵害

受講生は、連邦政府が定める著作権法を遵守しなければなりません。P2Pファイル共有を含む著作物の不正配布は、退学を含む懲戒処分に加え、民事・刑事告訴の対象となる場合があります。GIAの著作権侵害に関する方針は、GIA.edu/copyright-infringement で参照できます。

クレーム ポリシーと手続き

GIAは受講生からの苦情を真剣に受け止めます。GIAはすべての苦情を適時公正かつ公平な方法で審査します。GIAは、苦情の内容に名前の挙げた受講生、インストラクター、その他従業員に発言する機会を与えます。GIAが調査を行う間、受講生はGIAの担当者へ情報を提供し、調査に協力する必要があります。GIAは、調査中に収集されたすべての情報を意思決定プロセスにおいて考慮します。

受講生は、最初に適切な学校関係者と話し合いを行う前に、問題や懸念事項の解決を試みるよう推奨されます。学生が解決に達することができない場合、または非公式の解決が適切でない場合、受講生は正式な申し立てを提出できます。

正式な申し立てはキャンパス マネージャー tokyocampusmanager@gia.edu に書面で提出する必要があります。申し立てには、申し立ての根拠、関係者全員の氏名と日付、および苦情の根拠となる行為の簡潔な説明が含まれていなければなりません。申し立てを裏付ける文書、資料、または合理的かつ信頼できる追加の情報も含める必要があります。

適切に対処する為に、受講生はできるだけ早く苦情を提起してください。キャンパス マネージャーは、苦情を受理してから10営業日以内に申立人に対し、GIAの調査の要旨を書面にて回答します。調査が10営業日以内に完了しない場合、申立人に書面で追加の時間が必要であることを通知されます。

何らかの理由で、上記のような直接的申し立てを希望しない場合、GIA's Concern Reporting System (GIA懸念事項報告システム) GIAwis.ethicspoint.com を通じて申し立てを行うこともできます。

キャンセル、退学、返金ポリシー

GIAの入学の取り消し、退学、返金に関する方針は、本節と受講生の入学合意書で詳細に説明されています。ご質問がある場合は、GIA Tokyo Schoolまで電話（03-5812-0316）またはメール(giaeducationjapan@gia.edu)にてお問い合わせください。

入学・受講の取り消し

次に掲げる方法でGIAに書面で通知することによって、終了日以前であればいつでも入学を取り消すことができます。GIA Tokyo Schoolに以下の方法で通知してください。郵便または持参される場合は〒110-0016 東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7、7階 GIA Tokyo合同会社 Education（教育）、メールは giaeducationjapan@gia.edu、ファックスは 03-3837-7786 までご連絡ください。開講後に退学を希望する受講生は、GIA Tokyo Schoolに連絡してください。

欠席後に授業に戻らなかった受講生、適切な学業的進歩が維持できていない受講生、GIAの方針に違反した受講生は退学処分となります。

学生の登録が解除された（キャンセルまたは撤回）すべての場合、払い戻しは以下の払い戻しポリシーに基づいて計算されます。

学生が教育プログラムの支払いにローンを受けている場合、ローンの全額に利子を加えて返済する義務があります。

払い戻し期限内に、支払い時と同じ方法で元の送金者に返金されます。返金処理は、GIAが受講取消通知を受領した日から30日以内に行われます。

受講生により支払いに必要な銀行口座等の適切な情報が提供されなかった場合、授業料の返金が遅れる場合があります。

ラボクラスとダイヤモンド エッセンシャル集中コースの返金について

クラスがGIAによってキャンセルされた場合、受講生に費用全額が返金されます。授業開始の前日までに受講取り消しをされた場合は、授業料の全額を返金します。それ以降は、受講生が完了した受講時間の割合に基づいて税金を含めて按分し、未受講分に相当する金額が返金されます。

受講済み時間のパーセンテージ	GIAが保持する金額	受講生への返金
総受講時間の10%以下	授業料の10%と消費税	授業料の90%と消費税
総受講時間の10%を超過、25%以下	授業料の25%と消費税	授業料の75%と消費税
総受講時間の25%を超過、50%以下	授業料の50%と消費税	授業料の50%と消費税
総受講時間の50%を超過	授業料の100%と消費税	返金なし

未使用（未開封）のテキストおよび教材はGIAによる確認後、返金の対象になります。使用（開封）済み、または返却されないテキストおよび教材は返金の対象にはなりません。オプションの書籍、教材は消費税、配送料、取扱手数料を含めて返金の対象外です。

授業料の返金の計算例
受講生の支払った総額＝100,000円（消費税込み）
総授業時間＝10時間; 受講済み時間＝2時間
受講済み時間のパーセンテージ＝20%（2/10時間）
返金＝授業料の75%
返金額＝75,000円（100,000円 x 0.75）

授業料と教材費

合計金額は、GIA Tokyo Schoolで2019年1月1日～12月31日に開講されるプログラム、コース、クラスに適用され、金額は変更されることがあります。

ラボクラスおよび宝石学コース

プログラム番号	プログラム	授業料	手数料	合計金額*	初回支払額**	最終支払額***
GEM 230L	ダイヤモンドグレーディング ラボ	167,000円	17,000円（テキスト代） 3,000円（教材費） 14,960円（消費税）	201,960円	16,700円	185,260円
GEM 130A	ダイヤモンドエッセンシャル （集中コース）	42,500円	7,500円（テキスト代） 4,000円（消費税）	54,000円	4,250円	49,750円

表示金額の単位は日本円

* 合計金額の内訳には、授業料、テキスト代、教材費、消費税が含まれます。テキストと教材の購入は必須です

** 申請時の初回支払額は、合計金額の10%です

*** すべての受講料は、クラス開始日の30日前までにお支払いください

以下は合計金額に含まれません：

- ・ 住居、食事、保険、交通費、娯楽費、その他の生活費用
- ・ 送料と手数料
- ・ 紛失、破損した機器、貴金属、石にかかる費用
- ・ オプション書籍と教材
- ・ 振込手数料
- ・ 試験監督費用

その他の追加料金は以下のとおりです：

- ・ スチューデント ワークルーム使用料1日7,000円、半日3,500円
- ・ 成績証明書およびサティフィケート、ディプロマの再発行は、カールズバッド キャンパスに依頼し、請求は米ドルとなります。
 - ▶ サティフィケート再発行手数料40 USD
 - ▶ ディプロマ再発行手数料45 USD
 - ▶ 成績証明書1通10 USD

支払方法/学生口座

支払いはすべて日本円のみ承ります。GIAスタッフは月曜日から金曜日の午前9:00から午後5:30まで、支払受付、および口座についての相談に対応しています。

支払い方法について、以下の情報に留意してください：

- ・ 小切手：GIA Tokyo合同会社を受取人に指定してください。日本の銀行のみ使用可能です。
- ・ 口座振込：電話（03-5812-0316）またはメール (giaeducationjapan@gia.edu) で詳細をお問い合わせください。振込手数料は受講生が負担するものとします。

第三者機関支払者情報

もし、受講生以外の方が授業料や手数料の一部を支払う場合は、その支払者の氏名、居住国、有効な政府発行の写真付き身分証明書またはパスポートのコピーを支払い時に提出することが求められます。受講生の雇用主が授業料および料金の一部を支払う場合、雇用者はGIAからの要請により、正式な会社名と住所、その他の確認のためのリソース（企業ウェブサイトなど）を提供する必要があります。

2019年度 GIA Tokyo School クラス予定表

2019年度に開講されるプログラム、コースおよびクラスの授業料、テキスト代、教材費は、前年度と異なる場合があります。最新のスケジュール、授業料および手数料については、GIA.eduを確認してください。別途記載がない限り、すべてのクラスは表紙に記載された住所のGIA Tokyo Schoolで開催されます。GIAは、クラスの予定を変更、あるいは取り消すことができる権利を保有するものとします。

クラス

GEM 230L ダイヤモンド グレーディング ラボクラス

2月18日～22日
4月15日～19日
6月17日～21日
8月5日～9日
10月7日～11日
12月9日～13日

GEM 130A ダイヤモンド エッセンシャル (集中コース)

2月14日～15日
4月11日～12日
6月13日～14日
8月1日～2日
10月3日～4日
12月5日～6日

クラス開講期間と時間

ダイヤモンド グレーディング ラボクラスは月曜日から金曜日の午前9:30から午後5:30まで、ダイヤモンド エッセンシャル集中コースは木曜日から金曜日の午前9:30から午後5:30までです。

スチューデント ワークルーム

スチューデント ワークルームは先着順で、最大4名まで利用することができます。

使用状況の確認や席の確保については、電話 (03-5812-0316) またはメール(giaeducationjapan@gia.edu)にてお問い合わせください。

使用料は1日7,000円、半日3,500円です。試験のための利用については、使用料はかかりません。

予約の取り消しを希望する場合は、24時間前までにGIAに連絡してください。連絡がない場合、返金はされません。

スチューデント ワークルームを使用する受講生は、午前および午後の開始時間に時間厳守で到着する必要があります。遅刻の多い受講生は、スチューデント ワークルームの使用権を失うことがあります。

ガバナンスおよび経営管理

理事会

議長

Dione D Kenyon
Retired Financial Services Executive
Past President and CEO, The Jewelers Board of Trade

Amit Dhamani
Chief Executive Officer and Managing Director
Dhamani Jewels Group

Barbara Lee Dutrow, Ph.D.
Adolphe G. Gueymard Distinguished Professor
Department of Geology & Geophysics
Louisiana State University

Thomas H. Insley
Chief Financial Officer
Intrepid Therapeutics, Inc.

Susan M. Jacques
President and Chief Executive Officer
GIA

Robert Andrew Johnson
CEO
Diamond Cellar Holdings, LLC

Stephen F. Kahler
Senior Vice President Global Sales Operations
Swarovski North America Limited

Lisa A. Locklear
Senior Vice President and Chief Financial Officer
GSN Games

Lawrence Ma
CEO, Lee Heng Diamond Group and Founding President
Diamond Federation of Hong Kong

Thomas M. Moses
Executive Vice President and Chief Laboratory and Research Officer
GIA

Glenn R. Nord
Past President and Governor Emeritus

Samantha F. Ravich, Ph.D.
Chair of the Transformative Cyber Innovation Lab
Managing partner of A2 Partners, LLC

Barbara A. Sawrey, Ph.D.
Dean Emerita of Undergraduate Education, Distinguished Professor
Emerita Chemistry and Biochemistry
University of California, San Diego

Elliot Tannenbaum
Senior Principal
Leo Schachter Diamond Group

John W. Valley, Ph.D.
Charles R. Van Hise Professor
Department of Geoscience
University of Wisconsin

Thomas T. Yang
Managing Director and Partner
PrimeGenesis

Ralph Destino
Chairman Emeritus

Executive Management

Susan M. Jacques
President and Chief Executive Officer

Thomas M. Moses
Executive Vice President and Chief Laboratory and Research Officer

Kathryn Kimmel
Senior Vice President and Chief Marketing Officer

Anna Martin
Senior Vice President of Global Development

David J. Tearle
Senior Vice President and Chief Financial Officer

Elizabeth Keating
Vice President and Chief Ethics and Compliance Officer

Jennifer Wilson
Senior Vice President and General Counsel

Pritesh Patel
Senior Vice President and Chief Operating Officer

Duncan Pay
Vice President of Education and Chief Academic Officer

John King
Chief Quality Officer

John T. Hall
Vice President of Global IT Infrastructure Services

Lisa Biggs
Vice President and Corporate Controller

Lucy Xia
Vice President of Global Laboratory Planning

Matt Hall
Vice President of Regional Lab Operations, Europe, Middle East and Africa

Nirupa Bhatt
Managing Director for India and Middle East

Phillip M. Yantzer
Vice President of Laboratory Services

Seung-Hae Moon
Managing Director for Asia Pacific

Sriram Natarajan
Vice President of Operations, India Laboratory

Susan M. Schindelar
Vice President of Global Marketing

Wuyi Wang
Vice President of Research and Development

Zeeshan Kazmi
Chief Information Security Officer and Enterprise Architecture

教育運営

Education Management

内田 嘉乃 (Yoshino Uchida)
Campus Manager, Tokyo

高木 朝子 (Asako Takagi)
Education Coordinator, Tokyo

Sam Kong
Senior Director, Global Education Leadership

Duncan Pay
Vice President of Education and Chief Academic Officer

Kate Donovan
Manager, Global Alumni Relations

Kelly Yantzer
Director, Global Education Standards

Kimberly Overlin
Dean of Students

Mitch Spencer
Senior Manager, Learning Design & Development

Robert Weldon
Director, Richard T. Liddicoat Gemological Library and Information Center

Susan Elliott
Director, Education Resources

Susan Johnson
Director, Education Accreditation and Regulatory Affairs

Vusala Arango
Manager, Global Education Accreditation and Regulatory Affairs and Title IX Coordinator

Wendy Wang
Director, Student Financial Aid

Faculty

Instructor Qualifications

GIAのインストラクターは、その（特定の担当分野における）実績および履歴において、教育認証水準と州の定める条件を満たしています。

Tokyo Instructors

酒井 裕生 (Yusei Sakai)

Instructor Bio

酒井裕生は、1998年にオハイオ州立大学で地学の理学士号を取得後、1999年にGIA Graduate Gemologistを取得。その後の宝飾業界における20年近くの経験を通し、イスラエルのサイトホルダーにてルースダイヤモンドの卸売業、国内ジュエリーメーカーでジュエリーの製造管理と販売を手掛け、さらに自身で起業、ジュエリーを輸入販売する会社を経営。その後、ハリー・ウィンストン・ジャパンにおいて、カスタマーサービス、クオリティコントロール、インベントリーコントロール、ジュエリーと時計の輸出入のマネジメントに携わる。

GIA 顧問委員会

The GIA Program Advisory Committee (PAC) と Education Committee of the Governing Board は、世界的な宝飾品や宝飾品産業の有識者で構成されています。委員会のメンバーは、キャリア スクールとしての GIA の成功、成長、向上に欠かせない貴重な情報、フィードバック、多様な意見を提供してくれます。また、プログラムに対する外部評価を提供するために、既存のカリキュラム、コース教材、機器や設備、および受講生の成果をレビューします。彼らの貴重な情報提供は、GIA の使命を支援し、その努力をさらに後押しして、GIA が提供しているコースやプログラムが世界的な宝石・ジュエリー業界の動向に合致するよう導き、現代の職業的動向や実践に対応するリソースを見極める一助となっています。

GIA Education Committee of the Governing Board

Barbara A. Sawrey, Ph.D.

Dean Emerita of Undergraduate Education,
Distinguished Professor Emerita Chemistry
and Biochemistry
University of California, San Diego
San Diego, CA

Amit Dhamani

Chief Executive Officer and Managing Director
Dhamani Jewels Group
United Arab Emirates

Barbara Lee Dutrow, Ph.D.

Adolphe G. Gueymard Distinguished Professor
Department of Geology & Geophysics
Louisiana State University
Baton Rouge, LA

Dione D Kenyon

Retired Financial Services Executive Past
President and CEO, The Jewelers Board of Trade
Providence, RI

John W. Valley, Ph.D.

Charles R. Van Hise Professor Department of
Geoscience University of Wisconsin
Madison, WI

Lawrence Ma

CEO, Lee Heng Diamond Group and
Founding President
Diamond Federation of Hong Kong
Hong Kong

Robert Andrew Johnson

CEO
Diamond Cellar Holdings, LLC
Dublin, OH

Susan M. Jacques

President and Chief Executive Officer
GIA
Carlsbad, CA

GIA Program Advisory Committee

Alan Bronstein

Owner, Aurora Gems, Inc.
New York, NY

Alexandra Hart

Owner, Alexandra Hart
San Diego, CA

Barbara Wasserstrom

Principal Owner, Barbara Lynne
Designs
San Diego, CA

Barry S. Block

President, The Jewelry Judge
New York, NY

Edward C. Petersen

Vice President Product
Development & Production
New York, NY

Gail Brett Levine

Executive Director, National
Association of Jewelry Appraisers
Rego Park, NY

Karen Sampieri

Independent Consultant, KS
Sampieri Consulting
New York, NY

Malcolm Koll

Owner, Charles Koll Jewelers
San Diego, CA

Mary Todd McGinnis

Vice President, Ben Bridge Jeweler
Seattle, WA

Robert C. Aretz

President, Gem Appraisers &
Consultants,
New York, NY

Shant Dakessian

Co-Owner, Simone and Son,
Huntington Beach, CA

Thom Underwood

Owner, San Diego Gemological
Laboratory
San Diego, CA



GIA®

GIA 所在地

GIA Campus Locations

CARLSBAD – MAIN SCHOOL

World Headquarters
The Robert Mouawad Campus
5345 Armada Drive
Carlsbad, California 92008 USA
T +1 800 421 7250
T +1 760 603 4000, F +1 760 603 4003
admissions@gia.edu
GIA.edu

NEW YORK - BRANCH OF CARLSBAD

50 W 47th Street, 8th Floor
New York, New York 10036 USA
T +1 800 366 8519
T +1 212 944 5900, F +1 212 719 9563
nyedu@gia.edu
GIA.edu

LONDON

104 Great Russell Street
London, WC1B 3LA
UK
T +44 20 7813 4321, F +44 20 7813 4331
gialondon@gia.edu
London.GIA.edu

MUMBAI

10th Floor, Trade Centre
Bandra Kurla Complex
Bandra (East)
Mumbai 400 098 India
T +1 800 41 999 14
T +91 22 4085 1500, F +91 22 4085 1554
eduindia@gia.edu
GIAindia.in

BANGKOK

U Chu Liang Building, 2nd Floor
968 Rama IV Road
Silom, Bangrak
Bangkok, 10500 Thailand
T +66 2779 6100, F +66 2632 4595
giabkkedu@gia.edu
GIAthai.net

HONG KONG

3rd Floor, New World Tower II
16-18 Queen's Road Central
Hong Kong
T +852 3166 7001, F +852 2334 0567
giahongkong@gia.edu
GIAhongkong.com

TAIPEI

3F, 270 Nanjing E. Road, Sec. 3
Taipei 10551, Taiwan ROC
T +886 2 2771 9391, F +886 2 2771 9921
giataiwan@gia.edu
GIAtaiwan.com.tw

Additional Educational Locations

DUBAI

Office 02 G, Floor 02, AU Tower (Gold)
Cluster I, Jumeirah Lakes Towers
PO Box 625786
Dubai, United Arab Emirates
T +971 4 2754500, F +971 4 4473410
edume@gia.edu
GIAmideast.com

SURAT

2nd, 3rd Floor Swastik Universal
Dumas Road, Piplod
Surat 395 007 India
T +1 800 41 999 14
T +91 22 4085 1500, F +91 22 4085 1554
eduindia@gia.edu
GIAindia.in

TOKYO

Yamaguchi Building 7, 7th Floor
4-19-9 Taito Taito-ku, Tokyo 110-0016, Japan
T +81 3 5812 0316, F +81 3 3837 7786
giaeducationjapan@gia.edu
GIA.edu

GIA Laboratory and Research Locations

LABORATORIES

Antwerp	Mumbai
Bangkok	New York
Carlsbad	Ramat Gan
Gaborone	Surat
Hong Kong	Tokyo
Johannesburg	

REGIONAL BRANCH

Dubai

RESEARCH CENTRES

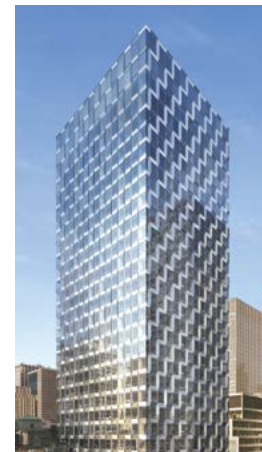
Antwerp	Carlsbad
Bangkok	New York

Learn From the World's Foremost Authority in Gemology™

+1 800 421 7250

+1 760 603 4001

GIA.edu



2018年12月; VOL.1.1